

特別養護老人ホームこもれび

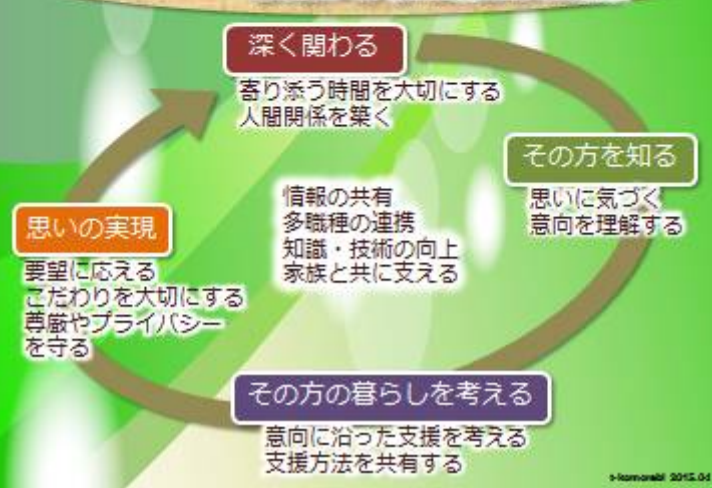
「ケア理念」 私らしいをいつまでも

「ケア指針」

- その方の意向を大切にしたい暮らしの支援
- 居心地の良い、家庭的な雰囲気のある居場所づくり
- 一人ひとりの心身に合わせた適切な介護の実践
- それぞれの趣味嗜好に応じた余暇の充実
- 家族の団らんを感じられる食事の工夫
- 穏やかに最期を迎えられる、寄り添いの看取り介護

「ケアモデル」

『寄り添うことで思いに気づく、その思いを叶える暮らしの支援』



●その人が『その人らしく穏やかに健やかに生きられる』ことを目指して・・・
スタッフが自分たちで積み上げてきた経験をもとに新たな目標を作りました。



●その人の思いに寄り添い・思いを尊重し、共に暮らす笑顔の絶えない家族のような関係を築いて行きます。



●洋風の建物ですが、居室やリビングは一番居心地の良い場所にしたいので工夫を凝らして変えています。



●食事も家族団らん！マイ茶碗マイ箸でおかずも取り分けて食べます。お手伝いも生きる喜びにつながっています。



●大勢での季節行事も行いますが、個々人の趣味も大切です。時間を作って対応します。駄菓子屋さんも常設しました。

端午の節句

●「さあ、みんなで柏餅を作りますよう！」
「うまくてできたかな？」「ほらほら！美味しいよ！」自作の柏餅をみんなで作ってたべましたよ。菖蒲湯のお風呂もね。



母の日

●「お母さんありがとう！」ご家族のみなさんもユニットのスタッフもみんな感謝の日です。「いくつになっても嬉しいね！」笑みがこぼれます。



●身近な所でもお花が見られるように各階のベランダに思いのおもいの花壇作りです。「私はお百姓さんだったから得意だよ！」「そんなに押さえたらだめだよ！」・・・

花壇づくり



●施設の周りのお茶の葉にタラの芽・柿の新芽もそろえて天ぷら。えんどう豆のご飯も炊いて「昔はよく食べただよお！」「懐かしい味だよねえ！」「まいう〜！」だった？若いよね。

季節の料理



○看護歴は40年くらいです。昔ですから父の友人の保健婦さんの紹介でこの道に進みました。病院の定年から新たに介護施設に来ましたが病院との違いに戸惑いましたね。ドクターとの仕事は介護のスタッフの皆さんとの仕事で協働になりましたからね。

○それでも利用者の皆さんに寄り添い若いスタッフさんの活気をもらっているのと日々新鮮さを味わえてやり甲斐を感じています。ドクターの代わりに判断を迫られることも多いですが、もうひと頑張りしたいと思っています。



デイ看護師
赤池知佐子さん
O型

◆今月のスタッフ紹介◆

★鯉のぼりが傷んでしまい今年には飾りませんでした。
★ご自宅、お知り合いに大型の鯉のぼりがあり
★鯉のぼりが傷んでしまい今年には飾りませんでした。
★ご自宅、お知り合いに大型の鯉のぼりがあり

●鯉のぼり募集！●

★屋上側からも入れます。
★各階ごとに行ないますのでご家族の皆様は施設にお越しの際に各ユニットで実施日をおたすねください。
★なお見学は自由ですので友人・知人お誘い合わせしてお越しください。

●紫陽花まつり●

☆行事とお祝い☆

